据付・取扱説明書（保証書付）

S-ICH125

インシーリングスピーカー

このたびはパイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お使いになる前にこの「据付・取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。**また、本書の裏表紙は保証書になっていますので、大切に保管してください。**

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この据付・取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

●記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

「据付工事」について

- 本機は十分な技術・技能を有する据付工事専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据付工事専門業者以外の方は据え付けを行わないでください。据え付け・取り付けは必ず据付工事専門業者または販売店にご依頼ください。

- なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

ご使用の前に

このスピーカーシステムのインピーダンスは、8 Ω です。負荷インピーダンスが 8 Ω 対応のアンプ（スピーカー出力端子に 8 Ω 適合の表示があるもの、たとえば「6 Ω ～ 16 Ω」の表示があるもの）へ接続してお使いください。

⚠スピーカーを過大入力による破損から守るため下記注意事項をお守りください。

- 本機を含む AV 機器をアンプへ接続するときは、アンプの電源プラグをコンセントから抜く。
- 許容入力以上の入力を入れない。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げすぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

⚠注意

[設置時の注意]

- **取り付けなどに不具合があると落下などの事故につながり大変危険です。組み立て、取り付けは必ず工事専門業者へ依頼してください。**

- **取り付け前に天井や壁などを調べ、スピーカーシステムの質量に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。**

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- オーディオ機器に本機を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源プラグをコンセントから抜き、説明に従って接続してください。また、接続は市販のコードを使用してください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。スピーカーが変形または変色したり、故障する原因になります。

- 取り付けには十分注意し、2 人以上で作業してください。

- **設置方法については 2 ページをご覧ください。**
- 本機の近くに CRT モニターを設置しているときは、モニターに色ムラが生じる場合があります。色ムラが生じるときは、本機から CRT モニターを離してください。

- 本機は一般屋内用です。屋外や水気または湿気の多い場所では使用できません。絶縁不良による故障の可能性があります。

[使用時の注意]

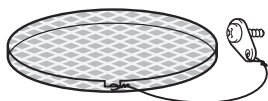
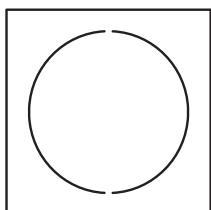
- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、故障や火災の原因となることがあります。

- 本機を AV アンプなどの音響用機器以外には接続しないでください。故障の原因となります。

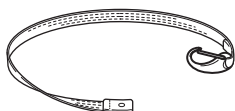
- 本機には自動復帰型のスピーカー保護装置が内蔵されています。過大な信号によってスピーカーから音が出なくなった場合、アンプのボリュームを下げ数秒間お待ちください。保護装置は自動的に解除されます。

付属品の確認

- ペイントマスク × 1

- グリル × 1

- テンプレート × 1

- グリル取り外しピン × 1

- ブチルテープ × 4

- 安全ベルト × 1

- 安全ベルト取り付け用ネジ × 2
  （1 個は予備です）
- 据付・取扱説明書（本書）× 1

設置

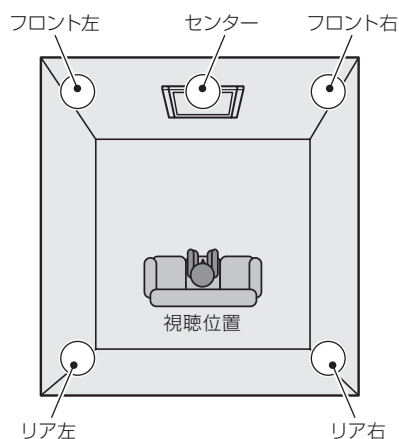
設置は必ず工事専門業者に依頼してください。

ー 工事専門業者の方へ ー

設置する前に下記のことを確認してください。

- 設置する場所（天井や壁など）に支柱、配線、または配管がないか確認してください。
- ハリ、照明、ドア、または窓などが障害にならないか確認してください。
- 取り付け前に天井や壁などを調べ、スピーカーシステムの質量に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。
- 本機は天井や壁などの板厚 5 mm ～ 40 mm に対応しています。天井や壁などの板厚がこの範囲にあることを確認してください。
- スピーカーを取り付ける前に、あらかじめスピーカーコードを設置場所まで敷設しておいてください。

■設置場所について

スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙な影響を受けやすいものです。最適な状態でご使用いただくために、スピーカーを取り付ける前に設置場所を十分検討してください。
以下に本スピーカーを天井に配置するときの標準的な設置場所（マルチチャンネルの場合）を示します。（スピーカーシステムは天井の隅から 50 cm 以上離してください。）

左右のスピーカーは視聴位置に対し、等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。

■スピーカーの準備

スピーカーの塗装

- スピーカーを塗装するときは、天井や壁などへ取り付ける前に塗装することをお勧めします。
- ハケ塗りは、グリルの穴が詰まり音質が著しく劣化することがありますので、スプレー塗装をお勧めします。

1 グリル内側の不織布を取り外す

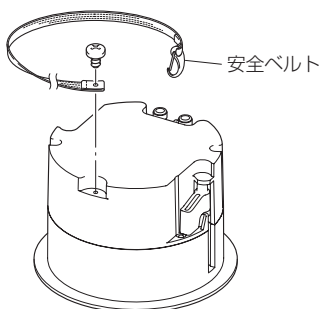
- シワがよらないようにして平坦なところに置きます。

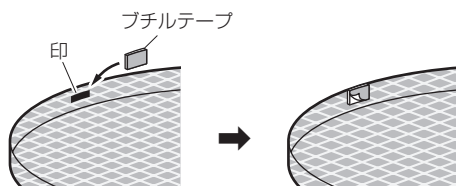
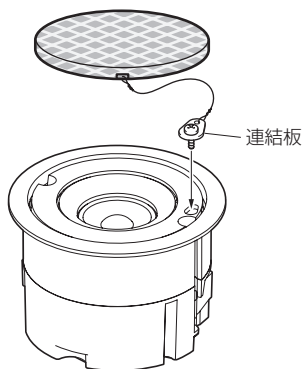
2 付属のペイントマスクをスピーカーに装着する

3 スピーカーとグリルをお好みの色で塗装する

4 塗料が完全に乾いたあと、スピーカーからペイントマスクを外し、グリルの裏側に不織布を貼り付ける

安全ベルトの取り付け

スピーカーに付属の安全ベルトを付属のネジで確実に取り付けます。

グリルの取り付け（前準備）

- グリル内側の印の上側にブチルテープを 4 枚貼り付けてから、はくり紙をはがします。

- グリルに付いている落下防止のための連結版（ネジ付き）をフランジに取り付けます。

■設置方法

- スピーカーの取り付け作業を行うときは、振動板に手を触れないように注意してください。
- スピーカーには強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体（ドライバーなど）を不用意に近づけないでください。引き寄せられて振動板を破損する恐れがあります。

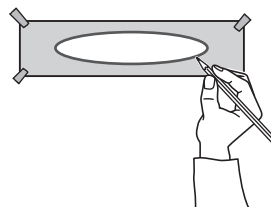
1 設置場所が決まったら、付属のテンプレートを準備する

- テンプレートの内側を切れ目に合わせて切り離します。（外側を使用します。）

2 テンプレート（外側）を粘着テープで設置場所に貼り付ける

- テンプレートが設置場所にすき間なく貼り付いていることを確認してください。

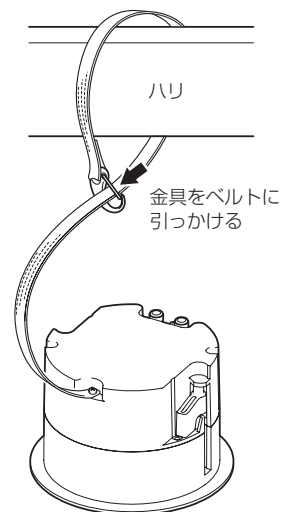
3 テンプレートの内周に沿って設置場所に印をつける

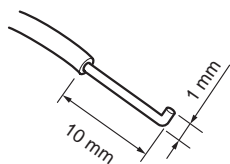
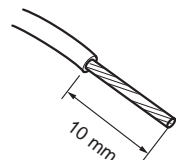
製品の外径：Φ 140 mm
取付穴の開口：Φ 125 mm

4 印に沿って穴を開ける

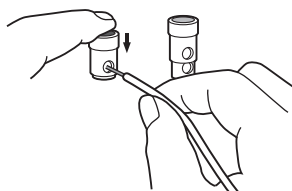
- 適切な工具を使用し、穴を開けるときは十分注意してください。

5 開けた穴からスピーカーコードを引っ張り出す

- スピーカーコードを無理に引っ張ったり、急な角度で曲げたりしないでください。

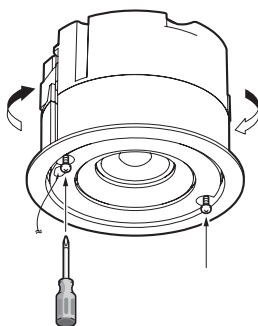
6 安全ベルトをハリなどに確実に取り付ける

7 スピーカーとスピーカーコードを接続する

- 入力端子の極性は赤がプラス（+）、黒がマイナス（−）です。

- 単線を使用する場合は、先端を約1 mm曲げます。

- ヨリ線を使用する場合は、被覆をはがしてから先端をひねってまとめます。

- 入力端子の頭を押してスピーカーコードの先端を穴に差し込み、指を放します。

ご注意

- 端子に接続したあとコードを軽く引いて、コード先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。接続が不完全ですと音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- 端子からコードの芯線がはみ出して他の芯線と触れないようにしてください。芯線どうしが触れているとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障する恐れがあります。
- コードと入力端子の極性（+、−）を全CHとも正しく接続してください。極性（+、−）を間違って接続すると、正常なステレオ効果やサラウンド効果が得られなくなります。

8 スピーカーを取り付ける

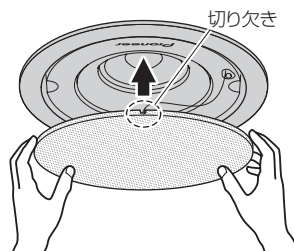
- スピーカーを設置場所の穴に挿入し、すべての固定用ツメのネジを少し緩めたあと、軽く締めます。
- 固定用ツメが回転し、ツメとフランジで天井または壁などをはさんだ状態になります。スピーカーを軽く引っ張ってみて、すべての固定用ツメが外側に出ており、天井または壁などを軽くはさんでいることを確認してください。

- すべてのネジを本締めします。
  - 電動ドライバーを使用するときは、トルク設定を最小トルクから徐々に大きくし、ネジが回転し始めたトルク付近でネジを本締めします。
  - 許容される最大トルク：1.0 N・m

ご注意

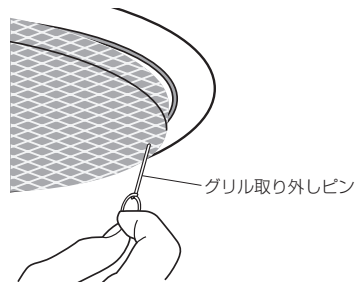
- グリルのヒモがドライバーに巻きつかないように注意してください。グリルが変形する恐れがあります。
- ネジを強く締めすぎると固定用ツメの破損、フランジのねじれ、天井や壁などの破損の原因となったり、グリルが取り付けにくくなりますのでご注意ください。

- ネジにがたつきがないことと、天井や壁などとフランジの間にすき間がないことを確認します。

9 グリルを取り付ける

- グリル裏側の切り欠き（連結板からヒモが結ばれている）をパイオニアロゴに合わせて、スピーカー本体の溝にグリルを差し込み、グリル外周を押して取り付けます。

ご注意

- グリルの外周を押してください。中央部を押すとグリルが変形します。
- グリルは最後まで確実に押し込んでください。

※ **グリルの取り外しかた：**付属のグリル取り外しピンをグリルの外周の穴に引っかけて引っ張り、浮き上がらせて取り外します。
全周を均等に引き出すようにしてください。一カ所を無理に引き出すとグリルが変形します。

■アンプとスピーカーコードの接続

1 アンプの電源プラグをコンセントから抜く

2 スピーカーコードをアンプのスピーカー出力端子に接続する

- 詳しくは、アンプの施工説明書または取扱説明書に従ってください。

ご注意

- 端子に接続したあとコードを軽く引いて、コード先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。接続が不完全ですと音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- 端子からコードの芯線がはみ出して他の芯線と触れないようにしてください。芯線どうしが触れているとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障する恐れがあります。
- コードとアンプのスピーカー出力端子の極性（+、−）を全 CH とも正しく接続してください。極性（+、−）を間違って接続すると、正常なステレオ効果やサラウンド効果が得られなくなります。

■スピーカーのお手入れ

- 通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 〜 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤、（カビ取り剤）などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕様

形式................................密閉式、インシーリングタイプ
スピーカー構成..1 ウェイ方式
　使用スピーカー................................5.2 cm コーン型
インピーダンス..8 Ω
再生周波数帯域..................................90 Hz ～ 40 kHz
出力音圧レベル..................................82 dB（2.83 V）
許容入力
　最大入力（JEITA）..50 W
外形寸法......................Φ 140 mm × 94 mm（奥行）
質量...0.6 kg

付属品
- ペイントマスク × 1
- グリル × 1
- テンプレート × 1
- ブチルテープ × 4
- グリル取り外しピン × 1
- 安全ベルト × 1
- ネジ（安全ベルト取り付け用）× 2（1 個は予備です）
- 据付・取扱説明書 × 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

はパイオニア（株）の開発した PHASE CONTROL 技術コンセプトに基づき録音から再生までの位相特性のマッチングを図った製品に付与される商標です。

保証とアフターサービス

■修理に関するご質問、ご相談

修理については、ご購入先にご相談ください。ご購入先に修理のご依頼ができない場合は、7 ページの「修理窓口のご案内」をご覧になり、修理受付センターにご相談ください。
なお、当社は本機内部の故障についてのみ修理対応いたします。設置・接続・屋内配線等に関わる不具合についてはご購入先または専門業者にご相談ください。

■保証書（裏表紙）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などをご購入先に記入してもらい、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 3 年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：インシーリングスピーカー
- 型番：S-ICH125
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容　（できるだけ詳しく）

保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば、飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、PHS、携帯電話などからは、
ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱いのご相談は、ご購入先または修理受付センター、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120−944−222　一般電話　03−5496−2986
■ファックス　03−3490−5718
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーパイオニア）　一般電話　03−5496−2023
■ファックス　0120−5−81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−987−1120
■ファックス　098−987−1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　一般電話　0538−43−1161
■ファックス　0120−5−81096

平成21年10月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.034

Pioneer

保証書

品　名	インシーリングスピーカー	機　種	S-ICH125
保証対象	本体	保証期間	（お買い上げ日より）**3 年間**
※お買い上げ日	年　　月　　日		
※お客様 お名前　　様	ご住所	電話番号	（　　）
※販売店	店名・住所・電話番号		

※印欄は必ずご記入ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障にした場合には、お買い上げの販売店、または修理窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご依頼ください。この商品は出張修理いたしますので、その際には本書をご提示ください。
3. 保証書期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、冠水等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、虫害、異常電圧などによる事故および損傷
   （ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用への長時間使用、車両・船舶への搭載等）
   （ホ）消耗品（各部ゴム、スポンジ、電池等）の交換
   （ヘ）本書の提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   （チ）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

（修理メモ）

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
  したがってこの保証書によって保証書を発行する者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
  保証期間中および経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または相談窓口・修理窓口にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますが、ご了承ください。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<SRA1495-A>